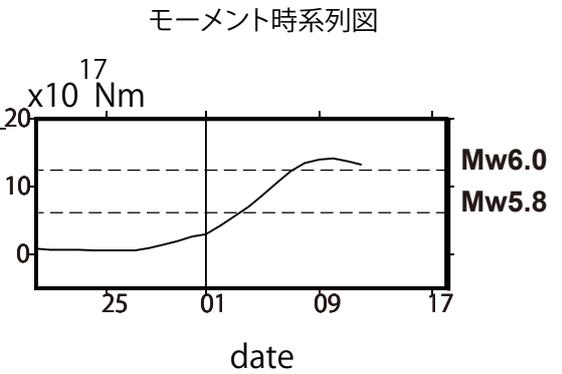
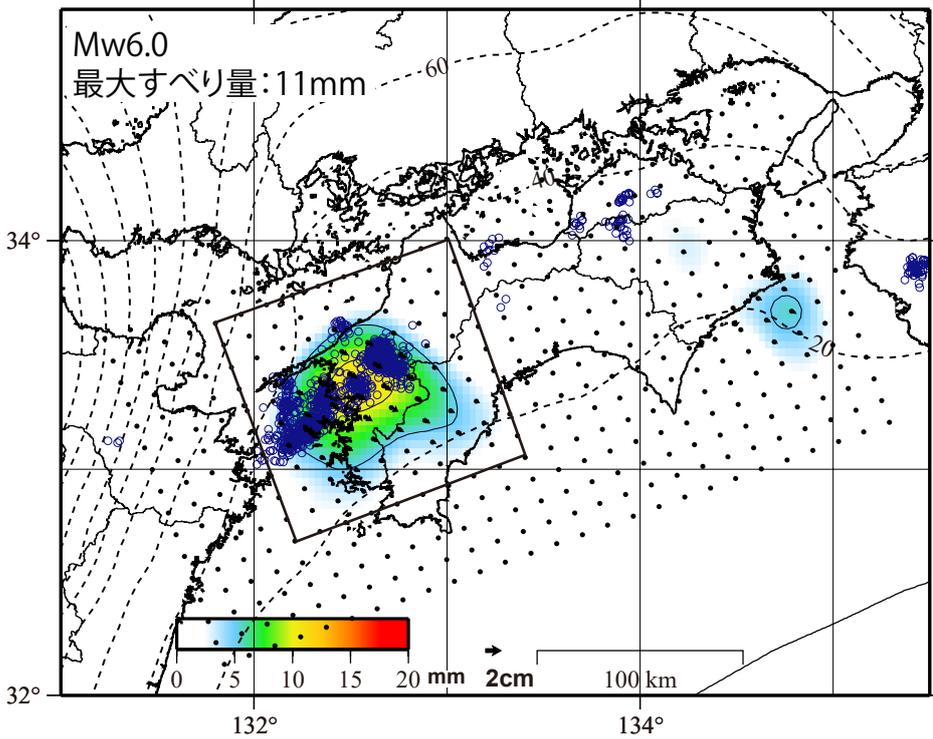


GNSSデータから推定された  
四国西部の深部低周波地震(微動)と同期したゆっくりすべり(暫定)

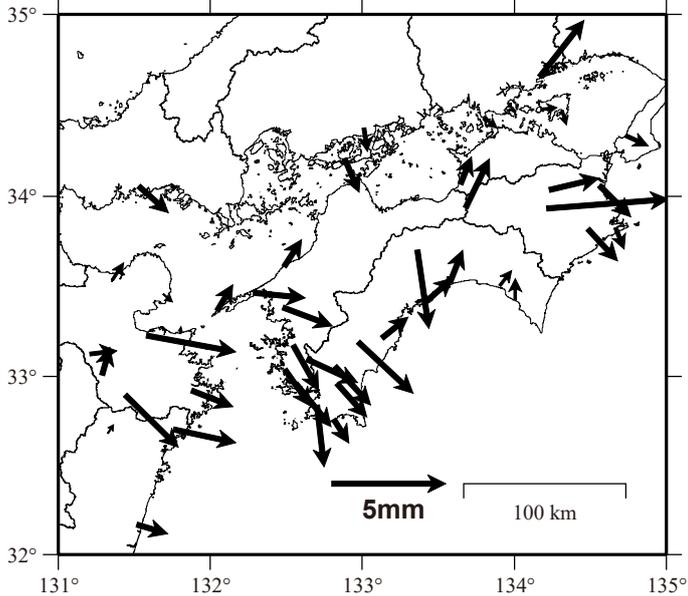
2026-01-01/2026-01-10



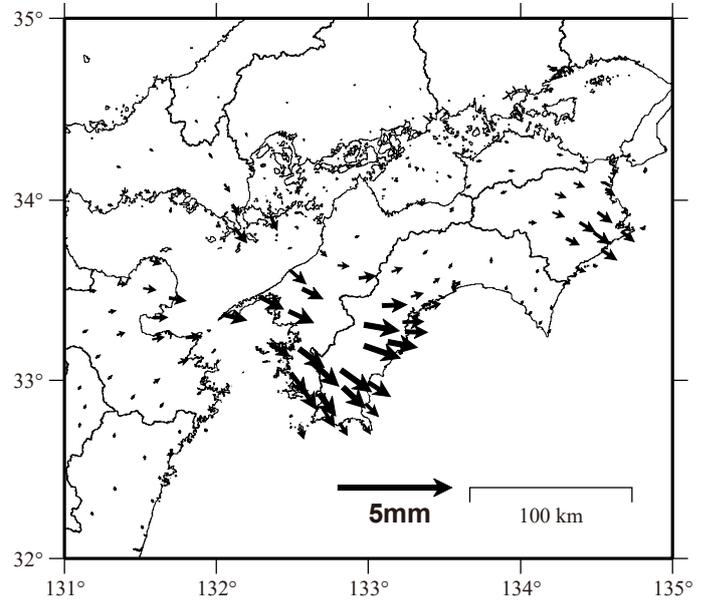
Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。  
すべり量(カラー)及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。  
推定したすべり量が標準偏差( $\sigma$ )の3倍以上のグリッドを黒色表示している。

観測

基準期間: 2025-12-20/2026-01-01 [F5: 最終解+R5: 速報解]  
比較期間: 2026-01-10/2026-01-15 [R5: 速報解]



計算



解析に使用した全観測点の座標時系列から、共通に含まれる時間変化成分は取り除いている。  
また、基準期間と比較期間間のオフセットをRamp関数で推定し、東西、南北のAICを合わせたAICで有意でない観測点は除外している。

解析に使用した観測点の範囲: 概ね北緯32~34.6°、東経131~134.8°

使用データ: GEONETによる日々の座標値(F5解、R5解)

F5解(2025-12-01/2025-12-31)+R5解(2026-01-01/2026-01-15) \* 電子基準点の保守等による変動は補正済み

トレンド期間: 2017-01-01/2018-01-01 (年周・半年周は2017-01-01/2026-01-15のデータで補正)

モーメント計算範囲: 図の黒枠内側

黒破線: フィリピン海プレートの上面の等深線(Hirose et al., 2008)

すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束

青丸: 低周波地震(気象庁一元化震源)(期間:2026-01-01/01-15)

コンター間隔: 5mm

固定局: 三隅